

Title	服制の研究(關根正直著, 古今書院發行)
Sub Title	
Author	松本, 芳夫(Matsumoto, Yoshio)
Publisher	三田史学会
Publication year	1925
Jtitle	史学 Vol.4, No.4 (1925. 12) ,p.141(601)- 141(601)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19251200-0141

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

書評

服制の研究

(關根正直著)
古今書院發行

本書は太古より現代に至るわが國の服制の研究であつて、まづ太古として推古朝以前の狀態を叙し、ついで上古前期として推古より持統朝まで、上古後期として文武朝より光仁朝まで、中古前期として桓武朝より醍醐朝まで、中古後期として村上朝より安徳朝まで、近古として後鳥羽朝より正親町朝まで、近世として後陽成朝より孝明朝まで、最後に現代の服制の變遷を説いたもので、書中所々に圖畫を挿入してその理解をたすけてゐる。

服装は飲食、住處とともに人間の日常生活に最も大切なものであり、従つてその變遷の研究は人間の生活を知る上に緊要なるものである。本書は服制の研究であつて、服装そのものの歴史ではないから、民衆の日常に於ける服装、その起原、變遷、一般文化との關係等については知ることができないけれども、しかし服制の上にも自ら各時代の風尙特徴の反映を見ることができるのであつて、風俗史の研究にはもちろんのこと一般歴史家にとつても、また本書は好參考書たることを失はない。(松本芳夫)

口丹波口碑集

(垣田、坪井兩氏編)
郷土研究社發行

丹波南桑田郡を中心として二人の編者によつて蒐集されたる口碑集である。神社佛閣を始めとして山川動植物に關する傳説、まじなひの如き民間信仰、年中行事其他の農民生活の狀態、及び歌謠類をその内容とし、いづれも興味津々としてつきま、且つ民俗研究には極めて尊い資料である。一本の樹木にからまる傳説にして、或は識者の笑ふべき俗信仰にして、人間の心の反映であり、人間の靈の創造であるかぎり、つよい力をもつて民衆の實際の生活をうごかしつゝあるのであつて、政治や經濟ばかりでは、ほんとうの民衆生活はわからない。物的要件や經濟的動機ばかりで民衆はうごいてゐはしない。人間の心的作用の不思議と偉大とを認めるものは、當然この新しい學問を重んじなければならぬのである。さうしてその研究を助ける資料の蒐集は極めて困難であるにかゝはらず、世人からはつまらない仕事に思はれてなほざりにされるのであるが、しかもその實重大な使命を果すのである。この意味に於いて小冊子とは言へ、本書は民衆生活の研究を志させる吾々にとつて、尊い收穫であらねばならぬ。本書は爐邊叢書の一冊として最近公にされたものである。(松本芳夫)